

新型コロナウイルス感染症に関する行政報告をいたします。

現下の新型コロナウイルス流行第8波の渦中にありまして、国内における新規感染者数は、現在も高い水準が続いており、道内においても、年末まで減少傾向にありましたが、年明け後、再び増加傾向が見られ、また、札幌市ではオミクロン株の派生型「XBB. 1」の感染が確認され、「XBB. 1」の特徴は国から正式な見解は示されてはいないものの、海外で感染が拡大していることから注視していかなければならないところです。

本市におきましては、直近の今月3日からの1週間は17人となっており、現在までの感染者数累計は、1,361人の方の罹患が確認されております。

また、先月7日から発生してございました芦別市保健福祉施設すばる及び市立芦別病院の感染者集団・クラスターの状況につきましては、すばるでは、先月29日を

もって収束となり、通所リハビリテーション(デイケア)及び短期入所療養介護(ショートステイ)が今月6日から再開され、市立芦別病院では、今月3日をもって収束し、現在は通常業務が行われております。

罹患された方々に、改めてお見舞い申し上げますとともに、これまでの間、市民の皆様には、大変ご心配やご不便をおかけした中で、ご理解とご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。

オミクロン株対応ワクチンによる接種につきましては、昨年9月から個別接種及び集団接種を開始し、12月末までの間に、12歳以上の対象者10,172人の75.2%、7,651人の方の接種が完了しておりますが、全国的にも、従来の接種よりも低い状況となっております。

このため、市民の皆様には、オミクロン株対応ワクチンの速やかな接種の検討とともに、三密の回避をはじめとする基本的な感染防止行動の再徹底と、日頃の備えと

して、食料品や解熱剤、可能であれば検査キットの準備を、また、屋内では、室内温度に留意した換気のこまめな実施など、今一度のご協力をお願いいたします。

季節性インフルエンザとの同時流行の懸念もあり、インフルエンザにはこれらの感染症に対する対策が有効とされておりますことから、一人ひとりが感染対策の意識を高く持ち続けていただきますよう重ねてお願い申し上げます、新型コロナ感染症に関する行政報告といたします。